

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施 策	19 地域、自然環境 一快適な生活環境の保全を目指しますー		
重点プロジェクト				
主 管 課	市民活動推進部 環境課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和6年6月1日	
関 連 課	公園緑地課、道路課、上下水道課			
目 標	国や県の動向を踏まえ、より効果的な温室効果ガスの削減やエネルギー対策などの実施、地球温暖化対策に関する普及・啓発を進めます。また、大気や水質など環境情報の把握に努めるとともに、市民、事業者等との協働により快適な環境づくりを進めます。			
施策目標の実現 に向けた取組	(1) 地域環境の保全 ・ 公共施設の省エネルギー化を図り、再生可能エネルギーなどを率先して導入することで、低炭素型まちづくりを推進します。 ・ 大気や水質の調査をはじめとした環境調査を継続的に実施し、結果を市民と情報共有します。 ・ 市民や環境活動団体、学校と協働、連携して環境フェアなどを実施することにより、環境学習の機会を提供し、環境活動の周知、啓発を図ります。 (2) 環境美化活動の推進 ・ 道路や公園、水辺などにおける地域での環境美化活動を支援します。 ・ ポイ捨て防止などモラル・マナーの向上に向けた意識啓発を推進します。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	公共施設の電気使用量					
		説明	庁舎など公共施設における電気使用量(太陽光発電設備による自家発電分を除く。)。温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量を削減することで、温室効果ガスの発生を抑制する。					
		単位	kwh					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	17,396,755	17,249,325	17,101,895	16,954,465	16,807,035	16,659,605
		実績値	14,012,509	12,616,309	12,673,471	12,685,174	13,845,904	13,251,415
	指標2	指標名	地球環境美化自主活動延べ参加者数					
		説明	環境美化活動団体による環境美化活動参加者数					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	7,431	7,534	7,637	7,741	7,844	7,947
		実績値	8,081	7,508	2,908	4,901	6,757	6,574
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	195,922	164,081	145,524	151,701	97,674	128,311
	人件費	40,676	39,656	41,847	41,269	44,487	38,873
収入	特定財源	2,502	2,672	2,667	0	0	11,730
	一般財源	234,096	201,065	184,704	192,970	142,161	155,454

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	地球温暖化対策	公共施設に緑のカーテンを設置し、温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量の削減を図った。 また、職員への省エネの取り組みの推進や5月からクールビズの実施などを行いエネルギー使用の抑制を図った。	公共施設への緑のカーテンの設置及び5月からクールビズ等を実施した結果、目標値を下回り、かつ、前年度と比べ電気使用量を594,489kwh削減した。	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組②	地域環境美化活動	地域クリーン推進員を中心に、地域の巡回、ごみ集積所の分別状況の確認等を行い、美化活動の推進及び環境美化意識の向上を図った。	環境美化自主活動 実施回数 213回 ごみ回収量 6,257kg 延べ参加人数 6,574人	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第2期ふじみ野市環境基本計画後期行動計画の5つの基本方針(1)「学びと協働の推進」、(2)「脱炭素社会の推進」、(3)「環境負荷の少ない循環型社会の構築」、(4)「環境にやさしいまちづくりの推進」、(5)「自然と調和した環境づくりの推進」に基づき、「環境学習館えこらぼ」を活用し、環境の場を広く市民に提供、また環境活動団体を支援し協働事業の推進、市民向けに住宅用スマートエネルギーシステム導入促進補助金及び電気自動車等導入促進補助金を助成しゼロカーボンに向けた取組を推進するとともに、環境意識の向上を図るための施策を実施し意識啓発を行った。 今後も引き続き市民、事業者とともに環境配慮への意識を高め、協働して取り組みを図っていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		環境基本計画・地球温暖化対策推進事業		前年度の方向性
				継続
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	19 地域、自然環境 ー快適な生活環境の保全を目指しますー		
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費		
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	坂本 心太郎
事務事業期間		平成20年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		環境基本法、ふじみ野市環境基本条例		
事務事業の内容	事務事業の 目的	ふじみ野市環境基本計画に基づき、環境基本計画行動計画の推進及び進行管理に取り組み、多様な自然環境の保全・再生、より良い生活環境の創出、環境教育の推進及び地球温暖化対策の推進等を図る。		
	事務事業の 経緯	環境基本計画行動計画に基づき各事業を推進し、年度ごとに効果測定などを行いながら進捗状況の把握を行う。		
	事務事業の 概要	環境基本計画行動計画の進行管理、環境年次報告書の作成、環境審議会の開催・運営、環境協働事業の推進と支援、埼玉県西部地区環境事務研究会への参加、地球温暖化対策の推進、環境フェアの開催、地域美化自主活動（ごみゼロ運動の支援）、市民の地域環境美化意識の向上、たばこのポイ捨て防止及び喫煙マナーに関する啓発、住宅用スマートエネルギーシステム導入費用及び電気自動車等導入費用を補助する事で市内のゼロカーボンに向けた取組を推進する。		
	令和5年度の 主な取組	・ 令和5年度版環境年次報告書の発行について 令和5年度環境審議会において各委員から意見を伺い、反映したものを年次報告書として発行。 ・ 環境フェア及び環境ポスターコンクールの実施 令和5年度環境フェアは4年ぶりに福岡中央公園で実施した。環境ポスターコンクール入賞作品15点を令和5年11月にイオンタウンふじみ野に展示するとともに、応募のあった全357点を令和5年12月5日から令和6年2月29日まで環境センター内で展示した。 ・ 住宅用スマートエネルギーシステム導入費用補助（82件7,836,000円） ・ 電気自動車等導入費用補助（35件2,750,000円）		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	2. 20	1. 90	2. 20
		人件費	17, 523	15, 054	17, 431
	再任用職員	従事人数(人)	0. 00	0. 00	0. 00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0. 00	0. 00	0. 00
		人件費	0	0	0
	人件費計		17, 523	15, 054	17, 431
事業費	報酬※		231	41	123
	賃金※		0	0	0
	需用費		587	398	561
	委託料		5, 072	13, 157	4, 395
	使用料及び賃借料		181	211	226
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		124	9, 484	18, 678
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		573	579	693
支出合計			24, 291	38, 924	42, 107
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	7, 507	0
	一般財源		24, 291	31, 417	42, 107
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			213	275	359

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ふじみ野市環境基本計画後期行動計画の指標の進捗状況		
	説明	令和4年度に策定したふじみ野市環境基本計画後期行動計画に位置づけた46指標の進捗状況の管理		
成果	単位	達成事業		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	35	35	35
	実績値	22	31	
指標 2	指標名	公共施設の電気使用量		
	説明	庁舎など公共施設における電気使用量(太陽光発電設備による自家発電分を除く。)。温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量を削減することで、温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化対策を推進する指標となるため。		
成果	単位	kWh		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	15,259,018	13,733,116	12,359,804
	実績値	13,845,904	13,251,415	
指標 3	指標名	地域環境美化自主活動延べ参加者数		
	説明	参加者数の把握		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5,392	7,432	8,175
	実績値	6,757	6,574	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	・令和5年度版環境年次報告書の発行について 環境審議会を1回開催し、環境審議会委員から意見を募集し、反映したものを年次報告書として発行した。 ・環境フェア 令和5年度は、4年ぶりに「福岡中央公園」にて令和5年10月21日に実施し1,500人（公称）が来場した。 ・環境ポスターコンクールの実施 令和5年度は環境フェアにおいて表彰式を実施した。その後入賞作品15点を令和5年11月にイオンタウンふじみ野に展示するとともに、応募のあった全357点を令和5年12月5日から令和6年2月29日まで環境センター内で展示した。 ・環境協働事業補助金の申請額（括弧内は交付確定額） 1 花と緑部会（緑のカーテン事業）60,000円（60,000円） 2 ふじみ野市環境情報ネット（情報誌発行）60,000円（0円） 3 上福岡駅前に花と緑を育てる会（上福岡駅前ロータリー花壇化）60,000円（60,000円） 4 ごみ減量をすすめる会（ベランダdeキエーロ啓発事業）20,331円（20,000円） ・地域環境美化自主活動の支援 - ごみ袋配布枚数 6,693枚 - ごみ回収回数 134回 - ごみ回収量 6,257kg - 延べ参加人数 6,574人 ・住宅用スマートエネルギーシステム導入費用を補助する事で市内のゼロカーボンに向けた取組を推進した。82件7,836,000円 ・電気自動車等導入費用を補助する事で市内のゼロカーボンに向けた取組を推進した。35件2,750,000円 ※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する465千円が加算される。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市の多様な自然環境などを計画的に保全し、より良い生活環境を創出していくため、市民に理解と協力を求めながら環境にやさしいふじみ野市を推進していく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		環境調査・対策事務		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策 体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	19 地域、自然環境 一快適な生活環境の保全を目指しますー			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課		評価責任者	坂本 心太郎
事務事業期間		平成22年度～		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、ダイオキシン類対策特別措置法、埼玉県生活環境保全条例、埼玉県地球温暖化対策推進条例、ふじみ野市環境基本条例等			
事務事業の内容	事務事業の 目的	環境にかかる市民からの様々な苦情、要望などに対し、法令などに基づき適切な対応を図る。 また、市内の大気環境、河川等の水質・魚類・底生生物、主要幹線道路の騒音・振動・交通量、大気・土壌に含まれるダイオキシン類の現状を把握し、市民の生活環境の保全に努める。			
	事務事業の 経緯	典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）の対応のみならず、空き地の適正管理、カラス、野良猫対策などを含め、生活環境の保全に努める。 また、生活環境の状況把握のため、大気中の汚染物質、公共用水域の水質汚濁状況、自動車交通騒音・振動・交通量、大気・土壌のダイオキシン類の調査を行っている。			
	事務事業の 概要	多様化する市民からの苦情や相談などに対し、行政として対応できる範囲で適切な対応を行う。また、ケースに応じてボランティアとの協働や関係機関を紹介するなど、情報提供により問題解決に努める。 環境調査については、一般大気、ダイオキシン調査、河川水質、魚類調査、道路騒音・振動調査を実施する。その他助成金については、一般公衆浴場の施設整備にかかる費用を助成、設備の近代化を促進し、経営の健全な育成を図るとともに、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の助成及びスズメバチの巣駆除費用の助成を行い、良好な生活環境の保全に努める。			
	令和5年度の 主な取組	・ 公害関係の苦情相談対応 150件（うち空き地関係の苦情相談件数 10件） ※対応件数は令和6年3月31日時点 ・ 環境調査の実施 ・ 河川水質、大気汚染、騒音、振動等・自動車交通騒音測定・ダイオキシン類濃度測定 ・ 一般公衆浴場の施設整備に係る費用の補助 ・ 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の補助 ・ スズメバチの巣駆除費用の補助			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.23	1.50
		人件費	11,948	9,746	11,885
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.00	1.00	0.42
		人件費	744	688	840
	人件費計		12,692	10,434	12,725
事業費	報酬※		744	738	881
	賃金※		0	0	0
	需用費		235	119	124
	委託料		6,028	7,557	8,727
	使用料及び賃借料		0	0	5
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		200	562	1,000
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		124	96	173
支出合計			19,279	18,818	22,795
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	241	510
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		19,279	18,577	22,285
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			169	163	190

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情申立件数		
	説明	※実績値は令和6年3月31日時点 個々の感じ方により苦情となる状況は様々であり、苦情発生を指標とする事は難しいが、苦情申立件数を経年的に把握するため苦情申立件数とした。また、環境の改善が苦情件数の減少と相関関係があると想定し数値目標を設定した。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	151	178	174
	実績値	182	150	
指標 2	指標名	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術頭数		
	説明	苦情・相談件数のうち最も多いのが野良猫にかかるものであり、本事業は必要性が極めて高いとともに、市への苦情の有効な対応策となっている。市内のボランティアが動物基金のチケットを使い実施する方法に加え、個人についても令和5年度から市の補助金で実施が可能となった。またボランティアとの情報共有により市内の状況把握も可能である。市として、今後も継続して実施していきたい。		
活動	単位	頭		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	150	71	71
	実績値	71	76	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	・公害や空き地等に関する苦情や相談について現地を確認し、必要に応じて指導を行うことで市民の生活環境の保全に努めた。 公害関係の苦情相談対応：150件 （うち空き地関係の苦情相談件数：10件） ・近年、特に苦情が多い飼い主のいない猫問題について、どうぶつ基金の支援を受け、ボランティア団体との協働事業により不妊・去勢手術を行うことで野良猫の繁殖抑制に努めた。不妊手術：55頭 ・飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の補助を、個人で実施する人に助成することで野良猫の繁殖抑制に努めた。21頭（105,000円） ・令和5年度環境調査の実施実績 【河川水質・大気汚染・騒音／振動／交通量測定業務】 河川水質 水質：年4回5地点、魚類・底生生物：年1回1地点 大気汚染 一般大気：年4回7地点、沿道大気：年2回1地点 騒音／振動／交通量 年1回3地点、 【自動車交通騒音測定面的評価業務】 自動車交通騒音測定面的評価 年1回2路線 【ダイオキシン類（大気・土壌）濃度測定業務】 大気：年2回2地点、土壌：年1回4地点 ・市内の一般公衆浴場の施設整備に係る費用について、県の補助の不足分を補助し、一般公衆浴場の整備の近代化を促進し、経営の健全な育成を図った。 1件 ・スズメバチの巣駆除費用の補助することで良好な生活環境の保全を図った。 26件（256,500円） ※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する418千円が加算される。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度に実施した市民アンケートによると、市民の多くは自然の緑や水辺を大切にするとともに清潔で便利なまちを望んでいる。また、環境に係る本市の課題として、犬などのフン、タバコやごみのポイ捨てなどが多く、また、地域によってはカラスやムクドリ、野良猫問題もあげられている。市に寄せられる苦情も典型7公害よりもこれらの苦情が多くなっている。
中長期的方向性	このような中、良好な生活環境の保全のために、苦情解決のための迅速な対応が求められている。
継続	また、環境の悪化は直接市民の健康や生活に直接影響するため、今後も定期的な環境調査により環境基準との比較を行い、状況の把握が必要である。これらを踏まえ、本事業を今後も継続実施とする。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		畜犬登録事務	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	19 地域、自然環境 ー快適な生活環境の保全を目指しますー		
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費		
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	坂本 心太郎
事務事業期間			評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		狂犬病予防法 ふじみ野市狂犬病予防法施行細則		
事務事業の内容	事務事業の 目的	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生の予防とまん延の予防をし、これを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬の飼い方の啓発を行う。		
	事務事業の 経緯	犬の登録及び狂犬病予防注射は、狂犬病予防法で義務付けられているため、法に基づき事務を行っている。		
	事務事業の 概要	・犬の登録等の事務 ・集合狂犬病予防注射業務 ・朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会事務 ・犬の飼い方マナー啓発		
	令和5年度の 主な取組	・犬の登録等の事務 登録頭数4,536頭、狂犬病予防注射接種頭数3,422頭 ※令和6年3月末日現在 ・集合狂犬病予防注射業務 ・朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会事務 集合狂犬病予防注射、定期総会、役員会 犬の飼い方・しつけ方教室（令和6年2月3日開催） ・犬のマナー啓発 市報・ホームページによる啓発、啓発チラシの配布（集合注射時、鑑札及び注射済票交付時）		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	1.00	1.10
		人件費	8,762	7,923	8,716
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.00	1.00	0.43
		人件費	730	708	869
人件費計			9,492	8,631	9,585
事業費	報酬※		729	770	875
	賃金※		0	0	0
	需用費		266	426	588
	委託料		336	347	689
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		4	4	23
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		396	395	439
支出合計			10,493	9,865	11,330
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	3,982	2,398
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		10,493	5,883	8,932
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			92	52	76

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	狂犬病予防注射接種率		
	説明	狂犬病予防法第5条により犬の所有者は狂犬病の予防注射を年1回受けさせなければならない。 (狂犬病予防注射接種頭数÷犬の登録数×100=接種率) ※3,422頭÷4,536頭×100=75.44% 令和6年3月末日現在		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	72.00	77.00	77.00
	実績値	76.99	75.44	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 狂犬病予防法に基づく犬の登録、注射、死亡等の窓口受付事務及びその会計処理に関すること。 2 朝霞保健所への月例報告に関すること。 3 犬の糞尿及び鳴き声等の苦情処理に関すること。 4 迷い犬や逃亡犬の相談及び捕獲並びにその処理に関すること。 5 集合注射（市内6公園の4日間）の実地とその事務及び会計処理に関すること。 日程：4月19日～21日、24日の計4日間 会場：市内公園6箇所（清見第2公園、水天宮公園、福岡中央公園、 西ノ原中央公園、鶴ヶ岡中央公園、亀久保区画整理記念公園） 実績：503頭（4日間） 6 狂犬病予防注射手続きの催促に関すること。 狂犬病予防注射の手続きをしていない犬の飼い主に対して、催促の通知はがきを送付した。 7 朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会に関すること。 8 啓発活動その他 飼い主の適正飼育の啓発、マナー啓発用看板の配付、散歩時のフンの回収袋の配付 9 ドッグランの運営、維持管理に関すること。 ふじみ野市・三芳町愛犬家協会に管理・運営をお願いするとともに、協会が除草した雑草をふじみ 野市と三芳町が処分するなど連携して維持管理に努めた。 ※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する155千円が加算される。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、集合狂犬病予防注射事業や犬の飼い方・しつけ方教室、市報等により、引き続き犬の飼い主に対する啓発を行っていく。 また、既に亡くなっている犬等に対し、飼い主が手続きを行っていない事例も見られるため、狂犬病予防注射未接種犬の飼い主に対し通知を行い、状況を確認するなど登録台帳の整理を引き続き行う。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		入間東部地区事務組合負担金（火葬場・斎場分）	前年度の方向性 拡充
重点プロジェクト			
施策 体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～	
	施策	19 地域、自然環境 ー快適な生活環境の保全を目指しますー	
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費	
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者 坂本 心太郎
事務事業期間			評価日 令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号) 入間東部地区事務組合同約(昭和45年県指令地第1742号)	
事務事業の内容	事務事業の 目的	二市一町で構成している入間東部地区事務組合に対して、斎場・火葬場の維持・運営費用に充てることを 目的に負担金を交付する。	
	事務事業の 経緯	入間東部地区事務組合同約に基づき、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の二市一町の広域事業として、入 間東部地区事務組合において運営する広域火葬・斎場の運営事業を行うにあたり、人口等から按分された 経費を負担する。	
	事務事業の 概要	入間東部地区事務組合において運営する広域火葬場・斎場の運営事業に係る費用を二市一町において分担 金を同組合に支出する。 火葬場・斎場の「設置費用」を支出しているため、均等割りはふじみ野市（旧上福岡市・大井町）2/4、 富士見市・三芳町は1/4ずつの負担。	
	令和5年度の 主な取組	入間東部地区事務組合に主に設置費用に対する負担金を支出し、斎場・火葬場を同組合が運営した。 運営についての財源は、火葬場使用料、葬儀式場使用料となる。	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,390	2,377	2,377
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		2,390	2,377	2,377
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		0	0	0
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		14,151	25,604	27,025
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		0	0	0
支出合計			16,541	27,981	29,402
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		16,541	27,981	29,402
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			145	245	251

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	火葬件数		
	説明	火葬場・葬祭場に対する負担金の支出事務であり、指標の設定が難しいため、火葬の実績件数を記載している。 (火葬件数 令和6年3月分までの合計)		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,071	1,285	1,285
	実績値	1,285	1,273	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	- 入間東部広域斎場しののめの里の管理運営事業 ※所在地：富士見市下南畑70番地1
	火葬場と葬祭場が1つになっている施設であり、組合である二市一町の住民であれば、組合市町以外の住民よりも低価格で利用できる。 施設使用料としては火葬料金、待合室使用料、霊園室使用料、葬儀式場使用料がある。 また、ペットの犬などの小動物の火葬を行うことも可能である。 施設使用料は管理運営事業における主な歳入の1つであり、また、ガス燃料や施設の修繕料、光熱費が主な歳出である。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民が必要とする施設であるため、今後も公営施設として事業継続していく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		入間東部地区事務組合負担金（し尿処理分）	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	19 地域、自然環境 ー快適な生活環境の保全を目指しますー		
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 03し尿処理費		
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	坂本 心太郎
事務事業期間		昭和61年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 入間東部地区事務組合同約(昭和45年県指令地第1742号)		
事務 事業 の 内 容	事務事業の 目的	二市一町において構成される入間東部地区事務組合において、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を規定する廃棄物(し尿)の適正処置事業の運営費用に充ててを目的に負担金を交付する。		
	事務事業の 経緯	入間東部地区事務組合同約に基づき、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の二市一町の広域事業として、入間東部地区事務組合においてし尿及び浄化槽汚泥の処理事業運営を行うにあたり、人口割等から按分された経費を負担・事業運営し、それが今日まで至る。		
	事務事業の 概要	入間東部地区事務組合（浄化センター）がし尿及び浄化槽汚泥を衛生的に処理する事業を維持するために、構成市町から負担金を同組合に支出する。		
	令和5年度の 主な取組	入間東部地区事務組合に負担金を支出することで、市内から発生するし尿及び浄化槽汚泥を同組合で処理した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,390	2,377	2,377
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			2,390	2,377	2,377
事 業 費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		0	0	0
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		69,167	69,218	83,309
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		0	0	0
支出合計			71,557	71,595	85,686
財 源 内 訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		71,557	71,595	85,686
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			627	627	730

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	浄化槽及びし尿汲み取りを利用する市民		
	説明	指標の設定が難しいため、浄化槽及びし尿汲み取りを利用する市民の数を記載している。 (浄化槽人口9,060人＋し尿汲み取り人口186人＝9,246人 令和6年3月実績)		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12,937	12,937	12,937
	実績値	9,458	9,246	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	下水道が整備されていない地域の浄化槽や工事現場などの仮設トイレのし尿を処理する施設の管理運営事業である。 ・平成30年3月浄化センター竣工 所在地：駒林1066番地 二市一町から集められたし尿が浄化センターで河川の生物にも無害なレベルまで浄化され、放出される。
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市内では生活排水を浄化槽により処理している建物や工事現場の仮設トイレなどが存在することから、今後も、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理が必要である。
中長期的方向性	
継続	